

全般	○ 令和6年1月1日（月）1610頃、石川県能登地方を震源とする最大震度7（M7.6、深さ約16km）の地震が発生。 ○ 同日1645、石川県知事から陸上自衛隊第10師団長（守山）に対して災害派遣要請があり、同時刻受理。 ○ 4日（木）0900、富山県知事から陸上自衛隊第10師団長（守山）に対して災害派遣要請があり、同時刻受理。 ○ 2日（火）1040、陸自中部方面総監を長とする統合任務部隊（JTF）を編成（陸海空自衛隊約10,000名態勢）。 ○ 3日（水）以降、総理からの指示を踏まえ、被災者のニーズにきめ細かく寄り添った生活支援活動を実施中。 ○ 8日（月）、自治体のニーズを踏まえ、入浴支援等の生活支援を拡大。 ○ 8日（月）、DMATとの協力による患者空輸、消防庁からの依頼による高度救助者の空輸を実施。 ○ 9日（火）以降、即応予備自衛官が生活支援活動に従事。	
活動態勢	【陸上自衛隊】 約4,300名 航空機約20機 【海上自衛隊】 約1,000名 艦艇9隻 航空機4機 【航空自衛隊】 約1,000名 航空機約10機 【合計】 約6,300名 艦艇9隻 航空機約40機	
連絡員の派遣状況	○ 全9箇所に計54名の連絡員（LO）を派遣し情報収集活動を実施。	
活動実績（延べ）	人命救助：救助411名 衛生支援：診療 約320名、患者輸送 約350名 輸送支援：糧食 約377,100食、飲料水 約258,900本、毛布 約12,200枚 燃料15,800L 等 給食支援：約5,980食 給水支援：約680t 入浴支援：入浴約1,800名 道路啓開：県道1号、6号、52号、57号、266号、285号及び国道249号の一部区間	

<8日(月)の主な活動>

【人命救助活動】

- ・空自新潟救難隊のUH-60により、野々江総合運動公園に30名の搬送を実施
- ・空自入間ヘリコプター空輸隊のCH-47により、野々江総合運動公園から小松基地へ16名の搬送を実施
- ・空自新潟救難隊のUH-60により、野々江総合運動公園へ7名の搬送を実施
- ・陸自第35普通科連隊が輪島市から大和医院へ患者1名の搬送を実施
- ・陸自第14普通科連隊が珠洲市から野々江総合公園へ避難者25名の搬送を実施
- ・陸自中部方面航空隊のUH-1及びCH-47により、大谷内、東陽中学校及びマリンタウンから孤立者等の輸送を実施
- ・護衛艦「さわぎり」搭載のSH-60により、輪島消防署から鞍月セントラルパークへ患者の輸送を実施

【道路啓開活動】

- ・陸自第382施設中隊及び第10施設大隊が珠洲市仁江町、珠洲市鶴飼町及び県道7号にて瓦礫撤去を実施

【輸送支援活動】

- ・護衛艦「すずなみ」「せとぎり」搭載のSH-60により、東陽中学校、南志見多目的グラウンド、門前総合運動公園、旧西保小学校、野々江総合公園等へ物資輸送を実施
- ・陸自中部方面航空隊のUH-1により、輪島レーダーサイトへNHK職員等の輸送、若山町アンテナへ消防隊員の輸送、東陽中学校へ物資の輸送、輪島分屯基地及び野々江総合公園へ物資の輸送を実施
- ・陸自第10特科連隊がこうのす小学校へ物資の輸送を実施
- ・空自第23警戒隊が輪島市グループホーム「海と空」へ物資の輸送を実施
- ・空自第3輸送航空隊のC-2機により、入間から小松へ消防車両等(計20名車両4両)の空輸を実施

【給水支援活動】

- ・珠洲市、輪島市、能登町、穴水町、七尾市、志賀町において給水支援活動を実施
(陸自第14普通科連隊、第33普通科連隊、第35普通科連隊、第10後方支援隊、空自第6航空団、高射教導隊等)

【給食支援活動】

- ・珠洲市、輪島市、富山県氷見市において給食支援を実施
(陸自中部方面後方支援隊及び空自第7航空団等)

【入浴支援活動】

- ・珠洲市、輪島市、穴水町、志賀町、七尾市において入浴支援活動を実施
(陸自第13後方支援隊、海自舞鶴地方隊)

活動の様子



捜索活動に係る消防団との調整



消防高度救助車の輸送



入浴支援の様子



県道266号の道路啓開（ビフォー）



県道266号の道路啓開（アフター）



孤立地域に救援物資を運搬する陸自隊員



巡回診療の様子



DMATと連携した医療支援



DMATと連携した患者輸送